

ブロック塀の耐震化に関する補助制度のご案内

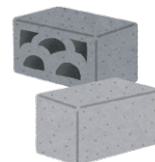
申込 問 建設課 都市計画係 ☎62-9217

老朽化によってひび割れや傾きが見られるブロック塀は、地震時等に倒壊する恐れがあります。町では、危険なブロック塀の撤去や補強をする方に対して補助を行っていますので、地震に備えて耐震化を進めましょう。

申請には手続きが必要となりますので、補助金交付を希望される場合には、事前にご連絡ください。

◆ 補助対象となるブロック塀

- ・ひび割れ、破損、傾斜等が見られるもの
 - ・道路沿いの高さ70センチメートル以上のブロック塀
- ※私有地間のブロック塀は「富士見町住宅リフォーム支援事業」をご活用ください



◆ 補助対象となる工事

- ・道路沿いのブロック塀等を撤去または補強する工事 ※新築・改修工事は対象となりません
- ・着工した年度内に実績報告書が提出できる工事

◆ 補助率

- ・工事費の2分の1（上限10万円）

危険物の取り扱いに注意してください

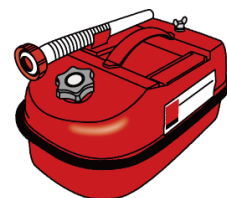
問 富士見消防署 ☎61-0119

秋の農作業等でガソリンや軽油、混合油など、火を近づけると引火しやすい性質を持つ危険物を使用する機会があります。普段から取り扱いに慣れている方でも、道具や危険物の適正な使用方法を守りましょう。

危険物の保管や運搬の際の事故防止と、皆さんの安全確保のため、消防法令に適合した容器で購入し、運搬してください。

● 貯蔵・取り扱い・購入に関する注意点

- ・油種の性質に適合した容器を使用しましょう。
- ・油種の量によっては火災予防条例により、消防署への届出が必要となります。
- ・ガソリン・軽油などを大量に保管すると、火災が発生した際に被害が大きくなる可能性があるため、極力買いだめは控えましょう。
- ・携行缶にガソリンを入れたい場合は、ガソリンスタンドの従業員に依頼しましょう。
- ・携行缶に入ったガソリンを使用する際は、溜まった内圧を抜いてから蓋を開けましょう。
- ・危険物が揮発した蒸気に火を近づけると引火する危険性があるため、保管する場合は空気の通りが良く、気温の高くない場所を選びましょう。
- ・機械に給油する際は、必ずエンジンを停止させてから行いましょう。



● 正しい運搬方法は？

自動車等で運搬する場合は、次のことに注意してください

- ・容器の収納口を上方に向けて、落下、転倒および破損しないよう積んで運搬してください。
- ・容器の蓋はしっかり閉めてください。
- ・容器の外部には、危険物の品名（ガソリンなど）、数量（〇〇リットル）、注意事項（火気厳禁等）を表示してください。



ガソリンは非常に引火しやすいため、法令で定められた容器に入れて保管するなど、取り扱いには十分注意が必要です。

ポリエチレン製の灯油缶は、ガソリンによって缶が溶けて変形し、漏れ出す恐れがあります。絶対にガソリンを入れないでください。

ガソリンの購入・運搬は、金属製の専用容器を使用しましょう。

